

大阪経済記者クラブ会員各位

大阪商工会議所

人事労務総合サービスの拡充サービスメニュー
「社員意識調査サービス」の開始について

【問合せ先】

経営情報センター（山崎・大迫・上野） ☎06-6944-6199

大阪商工会議所は、アンケート調査を通して組織の活力度、社員の満足感を分析し、組織の強みの発見から、課題の解決までを支援する「社員意識調査サービス」を新たに開始します。

- 近年、厚生労働省などが実施した調査結果によると、社員のメンタルヘルス不調や退職の理由として、「職場の人間関係」や「仕事のやりがい」が挙げることが多い。社員の心身の健康や満足感は、組織の生産性に大きな影響を与えることから、その把握は企業経営上も、重要な課題になりつつある。
- こうした社員の意識調査は、一般的に「ES調査」や「モラルサーベイ」と呼ばれ、大企業で広く実施されているが、中堅・中小企業での実施率は2割程度にとどまっている（財団法人労務行政研究所調べ）。
- 大阪商工会議所は、平成13年より、中堅・中小企業における人事労務業務を支援する「人事労務アウトソーシング」や「人事制度サポート」「メンタルヘルス対策支援サービス」などを提供してきた。これまで蓄積したこれらのノウハウを活用し、このたび新たに「社員意識調査サービス」を開始する。
- 本サービスの特徴は、一般的によく調査される「満足」「不満足」だけでなく、社員の「性向」や「活力度」も併せて測定、分析する点。経営学・心理学をもとにした定型項目（65問）に、各企業の独自の質問項目を組み合わせて実施する。インターネットを利用することで、全国どこでも簡単に調査できる。
- 利用料金は、他の一般的な調査会社の半額程度（基本料金35万円から）。これまで費用がネックとなって調査を実施できなかった中堅・中小企業も利用しやすい料金設定となっている。
- 調査により、課題や問題点が発見された場合、大阪商工会議所が実施する「人事制度サポート」など各種サポートサービスを提供し、課題解決に向けた取り組みを支援する。
- なお、本サービスの利用説明会を6月30日に大阪産業創造館で、9月には東京で開催する。説明会では、定型項目（65問）の調査を無料で体験できるほか、当日の参加者の回答をもとに作成した簡易報告書を進呈する。また、なぜ今社員の意識や満足感の向上に取り組む必要があるのかについて、社員のメンタルヘルスや退職対策、生産性向上の面から解説する。

以上

- <添付資料>
- 「社員意識調査サービス」の実施について（別添①）
 - 「社員意識（ES）調査サービス」の主な調査項目（別添②）
 - 「社員意識（ES）調査サービス 無料説明会」案内状（別添③）

別添資料①

人事労務総合サービスの拡充サービスメニュー 「社員意識調査サービス」の実施について

1. 主 旨

- ・大阪商工会議所では、組織の活力度や社員の満足感を、アンケート調査を通して分析し、組織の強みや課題を明らかにする。
- ・経営学・心理学をもとにした質問項目により、一般的な調査にある「満足」「不満足」だけでなく、社員の「性向」や「活力度」も併せて測定、分析する。
- ・また調査結果において問題が発見された場合、人事労務総合サービスを活用することにより、課題解決に向けた取り組みを支援する。
- ・さらにインターネットを利用することにより、全国どこでも簡単に実施することが可能な上、他の一般的な調査会社と比べ、3割から5割程度の費用で提供する。

2. 背景・目的

【世間情勢】

- バブル景気崩壊後、失われた10年と呼ばれる景気の低迷の中で、日本的経営の特徴と言われた終身雇用制が崩壊し、また年功主義から成果主義へと移行するなど、社会情勢や労働環境の急激な変化に伴い、企業で働く従業員のメンタルヘルスの不調が深刻化しているとの指摘が多数なされている。
- 例えば自殺実態白書では、精神疾患の罹患の要因として「過重労働」や「職場の人間関係」などがあげられている。
- また厚生労働省の調査では、若手社員の退職理由として「仕事のやりがい」や「職場の人間関係」などがあげられている。
- このほか（独）労働政策研究・研修機構の調査においても、労働意欲が低下した理由について「賃金が低い」、「仕事の達成感が感じられない」、「評価の納得性が確保されていない」などが上位を占めている。
- 一方、社員の心身の健康や満足感が組織の生産性と相互作用の関係にあるとの指摘もなされており、社員の意識や満足感を認識することは、企業運営上重要になってきている（Sauter, 1996）。
- なお（財）労務行政研究所の調査では、社員の意識や満足度に関する調査に関して、従業員数が1000人以上の企業では約4割が実施する一方で、1000人以下の企業では2割程度にとどまっている。

【本所の取り組み】

- 経営情報センターでは、平成13年より「人事制度サポート」「人事労務アウトソーシング」「メンタルヘルス対策支援サービス」「労務監査サービス」事業を柱とする「人事労務総合サービス」事業を、主に中堅・中小企業を対象に提供してきた。
- そこでこの度、この人事労務総合サービスで培ってきたノウハウを活用し、「社員意識調査サービス」を新たに同サービスのメニューに加える。
- 本サービスの目的は、企業における強みや課題を発見し、企業のメンタルヘルス対策や生産性の向上につながる施策の実施に資することである。

- 本サービスの特徴は、一般的に「E S 調査」や「モラルサーベイ」と呼ばれる調査に加え、社員の「性向」や「活力度」もあわせて分析する点である。
- また中堅・中小企業における調査の実施率が低いことから、低廉な価格でサービスを提供し、大阪商工会議所の会員企業に実施しやすい環境を提供する。
- さらにインターネットを利用して調査を実施することにより、全国どこでも簡単に実施することができる。またインターネット環境が整わない場合には「調査票（紙面）」での実施にも対応する。

3. 事業

【サービス概要】

- 経営学・心理学に基づいた社員アンケート調査
 - ・ハーズバーグの「動機づけ・衛生理論」をもとに、心理学の視点も加えた質問項目を構築
 - ・社員の意識・満足感に加え、社員の「性向」や「活力度」を測定
- 質の高い「質問項目」と「分析結果」
 - ・経営学の視点から質問項目を設定
監修：大阪市立大学大学院経営学研究科教授 下崎 千代子 氏
 - ・工学の観点から調査結果を分析
監修：同志社大学文化情報学部教授 宿久 洋 氏
- 「低価格」に加え、問題解決までサポート
 - ・商工会議所だからできる「低価格」と「安心」を実現
 - ・明らかになった課題に対し、人事労務総合サービスにより課題解決に向けた取り組みを支援

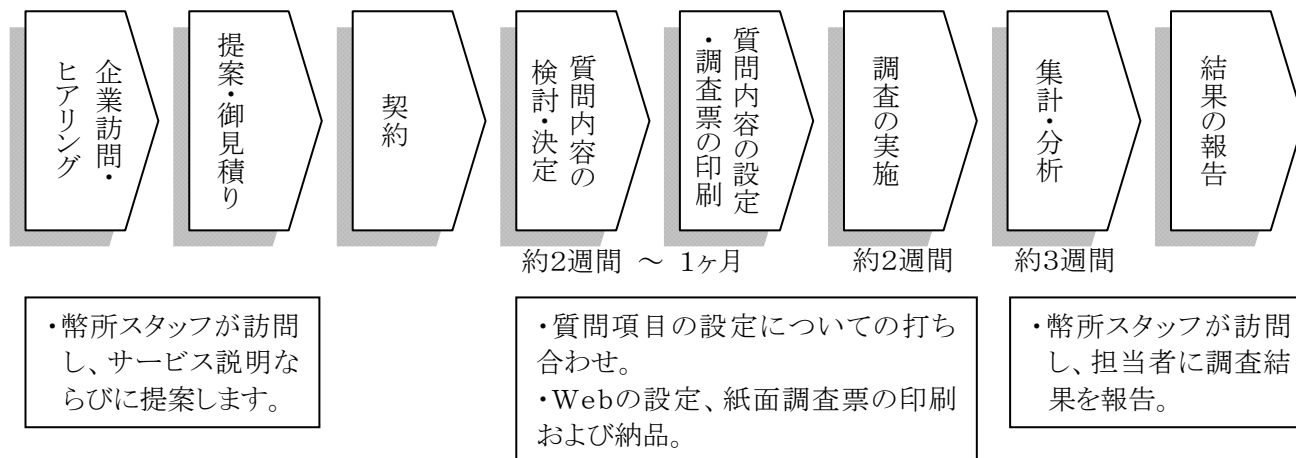
【基本サービス】

- ・質問票（定型版：65問）の提供
- ・調査システムの貸与（asp方式）
- ・結果の集計および分析
（全体集計・クロス集計 等）
- ・調査結果レポートの作成
（担当者用・一般回答者用）
- ・担当者への調査結果の報告

【オプションサービス】

- ・質問項目の追加
- ・部門別報告書の作成
- ・調査報告会等での報告 等

【サービス提供の流れ】



【サービス料金：税別】

基本調査プラン (Web版)			オプション調査プラン	
基本料金	一人当たり		紙面調査一人当たり (定型版のみ)	
350,000円	300円	+	200円 (100円)	

【参考文献】

- 財団法人労務行政研究所 (2010) 「人事労務管理諸制度の実施状況」『労政時報』3773号、6-75ページ。
- Sauter, S. L., Lim, S. Y. & Murphy, L. R. (1996). Organizational health: a new paradigm for occupational stress research at NIOSH. 産業精神保健, vol. 4, pp. 248-254.
- 自殺実態解析プロジェクトチーム編 (2008) 『自殺実態白書』自殺対策支援センターライフリンク。
- 厚生労働省職業能力開発局 (2003) 『若者の未来のキャリアを育むために～若年者キャリア支援政策の展開～』
- 独立行政法人労働政策研究・研修機構 (2008) 『従業員の意識と人材マネジメントの課題に関する調査』

以上

別添資料②

「社員意識（ES）調査サービス」の主な調査項目

質問項目	質問内容	大項目
総合満足度	職務に対する総合満足	総合評価
仕事について	仕事のやりがい、役割、適正	動機づけ要因
評価について	公平性、納得性、透明性	動機づけ要因
処遇について	ポストの納得性、チャレンジへの評価	動機づけ要因
自己の成長について	成長の実感、人材育成、将来像	動機づけ要因
自己効力感(※)について	やる気、モチベーションの源泉	自己効力感
労働条件・福利厚生について	賃金、勤務時間、休暇、職場環境	衛生要因
組織風土について	職場の雰囲気、組織風土	衛生要因
職場のコミュニケーションについて	上司・部下、協力体制	衛生要因
経営方針について	ビジョン、経営方針	衛生要因

(定型65項目：総合評価：1問、動機づけ要因：28問、自己効力感：7問、衛生要因：28問、フリーアンサー：1問)

※自分自身に目標に到達するための能力があるという感覚

【質問例】

仕事について：「私は、現在の仕事にやりがい感じている」

労働条件・福利厚生について：「現在の仕事量は、適度な量である」

